

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	カナダ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてカナダドル建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーマザーファンド	カナダ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	カナダドル建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーマザーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

Navio カナダ債券ファンド



第48期（決算日：2016年4月18日）
 第49期（決算日：2016年5月18日）
 第50期（決算日：2016年6月20日）
 第51期（決算日：2016年7月19日）
 第52期（決算日：2016年8月18日）
 第53期（決算日：2016年9月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「Navio カナダ債券ファンド」は、去る9月20日に第53期の決算を行いましたので、法令に基づいて第48期～第53期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

Navio カナダ債券ファンドのご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	9
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇分配金のお知らせ	12
◇お知らせ	12

マザーファンドのご報告

◇カナダ債券マザーファンド	14
---------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) シティ世界国債 インデックス カナダ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 み 金	期 騰 落	中 率			
	円		円		%		%	百万円
24期(2014年4月18日)	11,272		5		1.0	486.22	1.2	240
25期(2014年5月19日)	11,421		5		1.4	492.47	1.3	243
26期(2014年6月18日)	11,455		5		0.3	496.26	0.8	244
27期(2014年7月18日)	11,574		5		1.1	502.53	1.3	246
28期(2014年8月18日)	11,651		5		0.7	503.68	0.2	247
29期(2014年9月18日)	12,071		5		3.6	521.37	3.5	257
30期(2014年10月20日)	11,820		5	△2.0		513.44	△1.5	252
31期(2014年11月18日)	12,775		5		8.1	554.78	8.1	272
32期(2014年12月18日)	12,837		5		0.5	551.15	△0.7	271
33期(2015年1月19日)	12,559		5	△2.1		547.55	△0.7	261
34期(2015年2月18日)	12,405		5	△1.2		537.81	△1.8	258
35期(2015年3月18日)	12,282		5	△1.0		536.02	△0.3	257
36期(2015年4月20日)	12,613		5		2.7	550.75	2.7	264
37期(2015年5月18日)	12,603		5	△0.0		551.82	0.2	266
38期(2015年6月18日)	12,735		5		1.1	559.79	1.4	268
39期(2015年7月21日)	12,246		5	△3.8		537.92	△3.9	257
40期(2015年8月18日)	12,287		5		0.4	539.46	0.3	259
41期(2015年9月18日)	11,596		5	△5.6		514.57	△4.6	245
42期(2015年10月19日)	11,789		5		1.7	519.77	1.0	249
43期(2015年11月18日)	11,718		5	△0.6		518.10	△0.3	247
44期(2015年12月18日)	11,273		5	△3.8		498.61	△3.8	237
45期(2016年1月18日)	10,483		5	△7.0		465.15	△6.7	223
46期(2016年2月18日)	10,850		5		3.5	480.30	3.3	231
47期(2016年3月18日)	11,073		5		2.1	490.44	2.1	236
48期(2016年4月18日)	10,811		5	△2.3		485.28	△1.1	230
49期(2016年5月18日)	10,957		5		1.4	486.41	0.2	233
50期(2016年6月20日)	10,733		5	△2.0		472.80	△2.8	228
51期(2016年7月19日)	10,789		5		0.6	476.08	0.7	231
52期(2016年8月18日)	10,293		5	△4.6		458.04	△3.8	220
53期(2016年9月20日)	10,151		5	△1.3		449.69	△1.8	217

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) シティ世界国債インデックス カナダ (円ベース) はシティ世界国債インデックス (円ベース) のサブインデックスです。

(注) シティ世界国債インデックス (円ベース) は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせるため前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) シテイ世界国債 インデックスカナダ (円ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
第48期	(期首) 2016年3月18日	円 11,073	% —	490.44	% —	96.4	% —
	3月末	11,268	1.8	499.15	1.8	96.2	—
	(期末) 2016年4月18日	10,816	△2.3	485.28	△1.1	96.0	—
第49期	(期首) 2016年4月18日	10,811	—	485.28	—	96.0	—
	4月末	11,233	3.9	501.86	3.4	96.0	—
	(期末) 2016年5月18日	10,962	1.4	486.41	0.2	95.9	—
第50期	(期首) 2016年5月18日	10,957	—	486.41	—	95.9	—
	5月末	11,027	0.6	488.31	0.4	95.8	—
	(期末) 2016年6月20日	10,738	△2.0	472.80	△2.8	96.8	—
第51期	(期首) 2016年6月20日	10,733	—	472.80	—	96.8	—
	6月末	10,508	△2.1	462.00	△2.3	97.4	—
	(期末) 2016年7月19日	10,794	0.6	476.08	0.7	97.4	—
第52期	(期首) 2016年7月19日	10,789	—	476.08	—	97.4	—
	7月末	10,527	△2.4	466.02	△2.1	97.4	—
	(期末) 2016年8月18日	10,298	△4.6	458.04	△3.8	97.4	—
第53期	(期首) 2016年8月18日	10,293	—	458.04	—	97.4	—
	8月末	10,459	1.6	462.58	1.0	97.3	—
	(期末) 2016年9月20日	10,156	△1.3	449.69	△1.8	97.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第48期～第53期：2016/3/19～2016/9/20)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ8.1% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益に加え、カナダの長期金利が低下(債券価格は上昇)したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

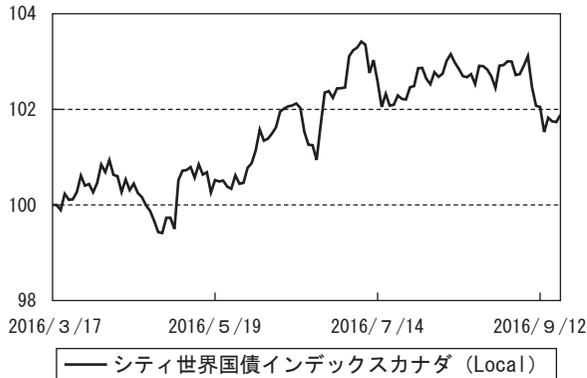
下落要因

カナダドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第48期～第53期：2016/3/19～2016/9/20)

債券市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

・カナダ金利は短中期ゾーンが上昇、長期ゾーンは低下するなどまちまちの動きとなりました。2016年4月下旬にかけては、中国景気の底入れ期待などを受けて原油などの商品市況が上昇し、市場のインフレ期待が高まったことなどから金利は上昇しました。7月上旬にかけては、アルバータ州での大規模な森林火災の影響などによるカナダ経済の減速懸念や6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で今後の政策金利見通しが引き下げられたことなどから金利は低下しました。その後は、FRB（米連邦準備制度理事会）高官の早期追加利上げに前向きな発言などを受けて、カナダでも短中期ゾーン主導で金利上昇した結果、当作成期首と比較するとカナダ金利は短中期ゾーンで上昇、長期ゾーンは低下して終わりました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

・カナダドルは対円で下落しました。米国の金融政策正常化のペースが緩やかになるとの思惑や日銀のさらなる追加緩和見通しの不透明感などから円が主要通貨に対して買われる展開となったことで、カナダドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<Navio カナダ債券ファンド>

- ・カナダ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてカナダドル建ての債券を高位に組み入れた運用を行いました。

<カナダ債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ7.5%の下落となりました。

- ・カナダドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期を通じて、債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・ファンドのデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、当作成期首から2016年5月中旬にかけては、インフレ期待が上昇基調にあったことなどから参考指数比中立にしました。5月中旬から9月上旬にかけて景気減速懸念から相対的に割安と判断した長期ゾーンに一部入れ替えることで、概ね参考指数比長めの範囲内で調整しました。9月上旬に長期ゾーンの割安感が解消したことなどから参考指数対比中立に変更し、当作成期末まで維持しました。
- ・カナダ国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を考慮し、ポートフォリオの利回り向上を狙い、政府機関債の組み入れを維持する一方、5月中旬に新たにカナダの州政府債を組み入れました。
- ・前記の運用の結果、債券の利子収益を獲得したことやカナダの長期金利が低下したことは基準価額にプラスに寄与しましたが、カナダドルが対円で下落したことなどが基準価額にマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

作成期首（2016年3月18日）

最終利回り	1.3%
直接利回り	2.1%
デュレーション	7.1年

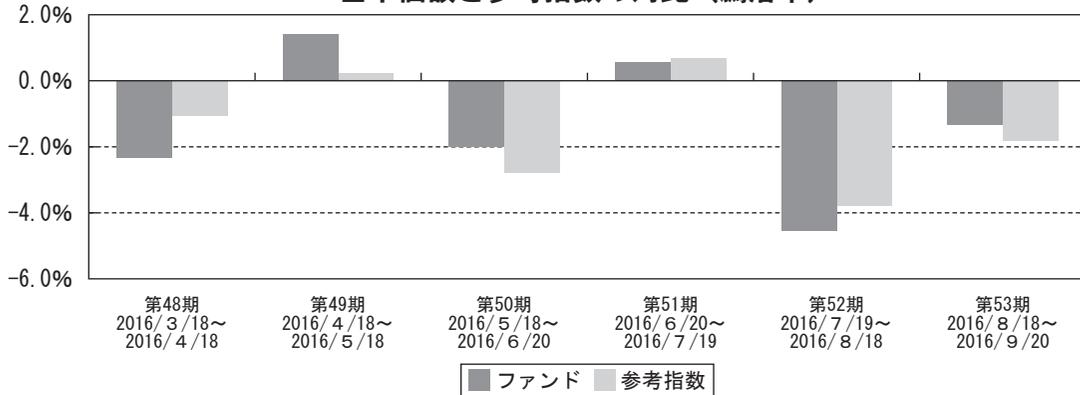
作成期末（2016年9月20日）

最終利回り	1.2%
直接利回り	1.9%
デュレーション	7.3年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について (第48期～第53期：2016/3/19～2016/9/20)

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はシティ世界国債インデックス カナダ（円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2016年3月19日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
(対基準価額比率)	0.046%	0.046%	0.047%	0.046%	0.049%	0.049%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,047	3,060	3,064	3,075	3,078	3,081

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<N a v i o カナダ債券ファンド>

◎今後の運用方針

- ・カナダ債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<カナダ債券マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・カナダでは国内のインフレ動向が落ち着いているものの、中央銀行がインフレの下振れリスクを指摘するなど緩和的な金融政策を維持するとの見込みから、カナダ金利は低下余地を探る展開を想定します。
- ・為替については、カナダの中央銀行が緩和的な金融政策を維持する中、日銀も物価安定の目標の実現に向けて金融緩和政策を継続する見通しなどから、カナダドルは対円でレンジ内の動きとなる展開を想定します。

◎今後の運用方針

(組入比率)

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを維持する方針です。

(種別構成)

- ・国債に対する相対的なスプレッド動向に注視しつつ、当面は現状の投資比率を維持する方針です。

(デュレーション)

- ・カナダの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年3月19日～2016年9月20日)

項 目	第48期～第53期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(31)	(0.289)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.289)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.032	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.025)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(1)	(0.005)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	68	0.631	
作成期中の平均基準価額は、10,837円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年3月19日～2016年9月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第48期～第53期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
カナダ債券マザーファンド	千口 1,338	千円 1,523	千口 2,045	千円 2,365

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月19日～2016年9月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 200	百万円 —	百万円 —	百万円 200	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2016年9月20日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第47期末	第53期末	
		口数	口数	評価額
カナダ債券マザーファンド		千口 199,047	千口 198,341	千円 217,044

○投資信託財産の構成

(2016年9月20日現在)

項 目	第53期末	
	評 価 額	比 率
カナダ債券マザーファンド	千円 217,044	% 99.6
コール・ローン等、その他	858	0.4
投資信託財産総額	217,902	100.0

(注) カナダ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(216,796千円)の投資信託財産総額(217,143千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1カナダドル=77.22円			
---------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
	2016年4月18日現在	2016年5月18日現在	2016年6月20日現在	2016年7月19日現在	2016年8月18日現在	2016年9月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	231,323,684	234,320,774	229,342,652	231,408,651	220,857,424	217,902,106
コール・ローン等	774,109	770,869	787,063	719,786	741,372	748,743
カナダ債券マザーファンド(評価額)	230,418,296	233,414,009	228,438,813	230,554,034	219,983,396	217,044,556
未収入金	131,279	135,896	116,776	134,831	132,656	108,807
(B) 負債	345,677	337,909	357,720	320,010	327,211	346,836
未払収益分配金	106,829	106,773	106,674	107,097	107,127	107,160
未払信託報酬	237,947	230,263	250,101	212,113	219,256	238,775
未払利息	1	1	1	1	1	1
その他未払費用	900	872	944	799	827	900
(C) 純資産総額(A-B)	230,978,007	233,982,865	228,984,932	231,088,641	220,530,213	217,555,270
元本	213,659,871	213,547,283	213,349,969	214,195,246	214,255,371	214,321,339
次期繰越損益金	17,318,136	20,435,582	15,634,963	16,893,395	6,274,842	3,233,931
(D) 受益権総口数	213,659,871口	213,547,283口	213,349,969口	214,195,246口	214,255,371口	214,321,339口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,811円	10,957円	10,733円	10,789円	10,293円	10,151円

○損益の状況

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2016年3月19日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 1	△ 31	△ 19	△ 18	△ 7	△ 12
支払利息	△ 1	△ 31	△ 19	△ 18	△ 7	△ 12
(B) 有価証券売買損益	△ 5,255,992	3,462,980	△ 4,423,812	1,555,874	△ 10,294,854	△ 2,696,564
売買益	376	3,467,720	2,354	1,631,026	1	1,898
売買損	△ 5,256,368	△ 4,740	△ 4,426,166	△ 75,152	△ 10,294,855	△ 2,698,462
(C) 信託報酬等	△ 238,847	△ 231,135	△ 251,045	△ 212,912	△ 220,083	△ 239,675
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 5,494,840	3,231,814	△ 4,674,876	1,342,944	△ 10,514,944	△ 2,936,251
(E) 前期繰越損益金	18,070,013	12,458,898	15,565,643	10,782,081	12,017,928	1,395,856
(F) 追加信託差損益金	4,849,792	4,851,643	4,850,870	4,875,467	4,878,985	4,881,486
(配当等相当額)	(7,576,570)	(7,586,390)	(7,593,856)	(7,863,740)	(7,882,750)	(7,903,124)
(売買損益相当額)	(△ 2,726,778)	(△ 2,734,747)	(△ 2,742,986)	(△ 2,988,273)	(△ 3,003,765)	(△ 3,021,638)
(G) 計 (D + E + F)	17,424,965	20,542,355	15,741,637	17,000,492	6,381,969	3,341,091
(H) 収益分配金	△ 106,829	△ 106,773	△ 106,674	△ 107,097	△ 107,127	△ 107,160
次期繰越損益金 (G + H)	17,318,136	20,435,582	15,634,963	16,893,395	6,274,842	3,233,931
追加信託差損益金	4,849,792	4,851,643	4,850,870	4,875,467	4,878,985	4,881,486
(配当等相当額)	(7,577,116)	(7,586,424)	(7,593,903)	(7,864,262)	(7,882,795)	(7,903,183)
(売買損益相当額)	(△ 2,727,324)	(△ 2,734,781)	(△ 2,743,033)	(△ 2,988,795)	(△ 3,003,810)	(△ 3,021,697)
分配準備積立金	57,535,737	57,766,779	57,792,443	58,003,600	58,067,807	58,133,251
繰越損益金	△ 45,067,393	△ 42,182,840	△ 47,008,350	△ 45,985,672	△ 56,671,950	△ 59,780,806

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜注記事項＞

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 213,229,716円
 作成期中追加設定元本額 1,617,705円
 作成期中一部解約元本額 526,082円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0151円です。

② 分配金の計算過程

項 目	2016年3月19日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日
費用控除後の配当等収益額	179,418円	381,401円	200,158円	329,034円	171,334円	172,628円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	7,577,116円	7,586,424円	7,593,903円	7,864,262円	7,882,795円	7,903,183円
分配準備積立金額	57,463,148円	57,492,151円	57,698,959円	57,781,663円	58,003,600円	58,067,783円
当ファンドの分配対象収益額	65,219,682円	65,459,976円	65,493,020円	65,974,959円	66,057,729円	66,143,594円
1万口当たり収益分配対象額	3,052円	3,065円	3,069円	3,080円	3,083円	3,086円
1万口当たり分配金額	5円	5円	5円	5円	5円	5円
収益分配金金額	106,829円	106,773円	106,674円	107,097円	107,127円	107,160円

○分配金のお知らせ

	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
1 万口当たり分配金 (税込み)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2016年9月20日現在)

＜カナダ債券マザーファンド＞

下記は、カナダ債券マザーファンド全体(198,341千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第53期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千カナダドル	千カナダドル	千円	%	%	%	%	%
カナダ	2,480	2,740	211,633	97.5	—	43.4	32.5	21.5
合 計	2,480	2,740	211,633	97.5	—	43.4	32.5	21.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		第53期末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
カナダ		%	千カナダドル	千カナダドル	千円		
	国債証券	0.75 CAN GOVT 210901	0.75	100	100	7,729	2021/9/1
		1.5 CAN GOVT 170901	1.5	600	605	46,736	2017/9/1
		1.75 CAN GOVT 190901	1.75	300	310	23,941	2019/9/1
		2.75 CANADA GOVER 641201	2.75	20	26	2,027	2064/12/1
		3.5 CAN GOVT 451201	3.5	180	248	19,181	2045/12/1
		4 CAN GOVT 410601	4.0	100	143	11,043	2041/6/1
		5.75 CAN GOVT 330601	5.75	180	286	22,122	2033/6/1
	地方債証券	2.4 ONTARIO 260602	2.4	500	516	39,901	2026/6/2
	特殊債券	1.25 CANADA H 210615	1.25	500	504	38,949	2021/6/15
合 計						211,633	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

カナダ債券マザーファンド

《第4期》決算日2016年3月18日

[計算期間：2015年3月19日～2016年3月18日]

「カナダ債券マザーファンド」は、3月18日に第4期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主としてカナダドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。投資にあたっては、カナダの国債、政府機関債、州政府債、政府保証債ならびにカナダドル建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	カナダドル建ての債券を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) シ テ ィ 世 界 国 債 イ ン デ ッ ク ス カ ナ ダ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	(円 ベース)	期 騰 落			
(設定日)	円	%			%	%	百万円
2012年4月10日	10,000	—	414.34	—	—	—	199
1期(2013年3月18日)	11,537	15.4	484.68	17.0	95.9	—	231
2期(2014年3月18日)	11,534	△ 0.0	480.23	△ 0.9	97.8	—	238
3期(2015年3月18日)	12,906	11.9	536.02	11.6	96.4	—	256
4期(2016年3月18日)	11,833	△ 8.3	490.44	△ 8.5	96.7	—	235

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) シティ世界国債インデックス カナダ (円ベース) はシティ世界国債インデックス (円ベース) のサブインデックスです。

シティ世界国債インデックス (円ベース) は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) シ テ イ 世 界 国 債 イ ン デ ッ ク ス カ ナ ダ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(円ベース)	騰 落 率		
(期首) 2015年3月18日	円 12,906	% —		% —	% 96.4	% —
3月末	12,943	0.3	535.40	△0.1	96.1	—
4月末	13,320	3.2	556.01	3.7	96.7	—
5月末	13,378	3.7	554.49	3.4	96.0	—
6月末	13,202	2.3	551.01	2.8	96.1	—
7月末	12,968	0.5	538.59	0.5	98.4	—
8月末	12,456	△3.5	517.01	△3.5	97.7	—
9月末	12,149	△5.9	505.58	△5.7	97.6	—
10月末	12,409	△3.9	515.68	△3.8	97.6	—
11月末	12,411	△3.8	515.74	△3.8	97.7	—
12月末	11,927	△7.6	493.68	△7.9	97.5	—
2016年1月末	11,907	△7.7	483.15	△9.9	97.2	—
2月末	11,652	△9.7	484.16	△9.7	97.1	—
(期末) 2016年3月18日	11,833	△8.3	490.44	△8.5	96.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ8.3%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

・カナダ金利は、原油価格が上昇したことや米国の2015年内の利上げ観測の高まりなどから、6月にかけて上昇(債券価格は下落)しましたが、その後は、カナダ銀行(中央銀行)が7月に政策金利を引き下げたことや、原油価格が下落に転じたことなどから低下基調となりました。2016年2月中旬以降、商品市況の上昇などを背景に、カナダ銀行による利下げ観測が後退したことや、期待インフレが上昇したことなどから金利は反発しましたが、期首と比較すると低下して終わりました。

◎為替市況

- ・原油価格の低迷が続いたことや世界的に株価が下落する中で逃避通貨として円が選好されたことなどから、カナダドルは対円で下落しました。
- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・カナダドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて、債券現物の組入比率は高位を維持しました。
 - ・ファンドのデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、期首は参考指数比長めとしていましたが、カナダの景気指標が強弱混在しており、金利の方向感に欠けると判断したことから、2015年6月中旬に参考指数比中立に変更しました。その後、原油価格の低迷や国内のインフレ動向の落ち着きなどを背景にカナダ銀行が緩和的な金融政策を維持すると想定する中、米国金利の影響を受けてカナダ金利も上昇しましたが、カナダ金利の上昇余地は乏しいと判断し、11月中旬に参考指数比長めに変更しました。その後、利下げ観測を織り込む形でカナダ金利は低下しましたが、カナダ金利の低下余地は乏しいと判断し、2016年1月中旬に参考指数比中立に変更し、期末まで維持しました。
 - ・カナダ国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を考慮し、ポートフォリオの利回り向上を狙い、2015年6月中旬から政府機関債の組み入れを開始しました。
 - ・前記の運用の結果、債券の利子収益を獲得したことは基準価額にプラスに寄与しましたが、カナダドルが対円で下落したことなどが基準価額にマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

◎今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・カナダでは原油価格に反発の兆しは見られるものの、国内のインフレ動向が落ち着いており、カナダ銀行が緩和的な金融政策を維持するとの見込みから、カナダ金利はもみ合う展開を想定します。
- ・為替については、本邦における物価安定の目標の実現に向けたさらなる追加緩和観測などから、円相場は緩やかな下落期待が維持されそうです。一方、カナダの成長期待が高まらない場合は、カナダドルは対円でレンジ内の動きとなる展開も想定します。

◎今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを維持する方針です。

（種別構成）

- ・国債に対する相対的なスプレッド動向に注視しつつ、当面は現状の投資比率を維持する方針です。

（デュレーション）

- ・カナダの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年3月19日～2016年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	5	0.041	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(5)	(0.037)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
	(1)	(0.004)	
合 計	5	0.041	
期中の平均基準価額は、12,560円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年3月19日～2016年3月18日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	カナダ		千カナダドル	千カナダドル
		国債証券	987	1,801
		特殊債券	1,485	604

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2015年3月19日～2016年3月18日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 6	百万円 5	% 83.3	百万円 5	百万円 4	% 80.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年3月18日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千カナダドル	千カナダドル	千円	%	%	%	%	%
カナダ	2,380	2,661	227,707	96.7	—	48.2	24.2	24.3
合 計	2,380	2,661	227,707	96.7	—	48.2	24.2	24.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		債 価	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
カナダ		%	千カナダドル	千カナダドル	千円		
国債証券	1.5 CAN GOVT 170901	1.5	660	669	57,243	2017/9/1	
	1.75 CAN GOVT 190901	1.75	250	260	22,242	2019/9/1	
	2.75 CANADA GOVER 641201	2.75	20	24	2,079	2064/12/1	
	3.5 CAN GOVT 451201	3.5	100	131	11,252	2045/12/1	
	4 CAN GOVT 410601	4.0	100	137	11,744	2041/6/1	
	5.75 CAN GOVT 290601	5.75	200	296	25,340	2029/6/1	
	5.75 CAN GOVT 330601	5.75	150	233	20,000	2033/6/1	
	特殊債券	1.45 CANADA HOUSI 200615	1.45	400	406	34,801	2020/6/15
		1.95 CANADA HOUSI 251215	1.95	500	502	43,002	2025/12/15
	合 計					227,707	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2016年3月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 227,707	% 96.6
コール・ローン等、その他	7,939	3.4
投資信託財産総額	235,646	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(234,382千円)の投資信託財産総額(235,646千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1カナダドル=85.54円		
---------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年3月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	235,646,396
コール・ローン等	6,827,136
公社債(評価額)	227,707,034
未収利息	1,037,033
前払費用	75,193
(B) 負債	113,750
未払解約金	113,750
(C) 純資産総額(A-B)	235,532,646
元本	199,047,985
次期繰越損益金	36,484,661
(D) 受益権総口数	199,047,985口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,833円

<注記事項>

- ①期首元本額 198,837,532円
 期中追加設定元本額 6,674,610円
 期中一部解約元本額 6,464,157円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1833円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

N a v i o カナダ債券ファンド 199,047,985円

【お知らせ】

2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年7月1日)

○損益の状況 (2015年3月19日～2016年3月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,879,922
受取利息	4,879,922
(B) 有価証券売買損益	△26,047,986
売買益	2,675,687
売買損	△28,723,673
(C) 保管費用等	△ 103,557
(D) 当期損益金(A+B+C)	△21,271,621
(E) 前期繰越損益金	57,789,833
(F) 追加信託差損益金	1,703,924
(G) 解約差損益金	△ 1,737,475
(H) 計(D+E+F+G)	36,484,661
次期繰越損益金(H)	36,484,661

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。